

静岡市内の公立高等学校の共同具体構想

平成20年3月

静岡県・静岡県教育委員会
静岡市・静岡市教育委員会

目 次

共同具体構想の策定に当たって	1
I 清庵地区	2
1 学校づくりの基本的な方向	2
2 設置者	2
3 開校予定年度等	2
4 設置学科等	3
(1) 基本的な方針	3
(2) 設置学科の特色	3
(3) その他	4
5 学校規模	4
6 設置場所及び施設整備	4
II 静岡地区	5
1 学校づくりの基本的な方向	5
2 設置者	5
3 開校予定年度等	5
4 設置学科等	6
(1) 基本的な方針	6
(2) 総合学科の系列	6
(3) 共生・共育	6
(4) その他	7
5 学校規模	7
6 設置場所及び施設整備	7
開校に向けて	8

共同具体構想の策定に当たって

静岡県・静岡県教育委員会と静岡市・静岡市教育委員会は、平成 19 年 10 月 29 日に「静岡市内の公立高等学校の再編整備に関する協定書」を取り交わし、これに基づき「静岡市内の公立高等学校の再編整備について共同で検討する委員会（以下「検討委員会」という。）」を設置した。

検討委員会では、部会を設置して協議を重ね、平成 20 年 1 月 9 日に、静岡市に所在する公立高等学校について、「静岡市内の公立高等学校の共同再編計画（以下「共同再編計画」という。）」を策定した。

本共同具体構想は、教育条件のより一層の整備・充実に図るとともに、社会構造の変化に対応した新しい高等学校教育を実現し、活力ある高等学校としての維持・発展をめざすため、「共同再編計画」を具体化する教育活動全般及び学校施設・設備の整備等に関する基本方向を示すものである。

I 清庵地区

静岡県立庵原高等学校及び静岡市立清水商業高等学校を再編整備して設置する新構想高等学校の概要は、次のとおりである。

1 学校づくりの基本的な方向

新構想高等学校は、両校の伝統や地域に果たしてきた役割を十分踏まえ、新しい時代に対応した教育を実現するため、次に示す内容を基本的な方向とし、今後、具体的な教育目標等を検討する。

- 高いところざしを持ち、知・徳・体のバランスの取れた人材の育成
- 学科併置の特色を生かした教育の推進
- 国際理解教育の推進
- 将来の職業人を育成するビジネス教育の推進
- 地域に根ざした開かれた学校づくりの推進

2 設置者

静岡市とする。

3 開校予定年度等

平成 25 年度とする。

ただし、平成 24 年度までに入学する生徒の募集は両校で行い、平成 23 年度・24 年度に入学する生徒は、平成 25 年度から新構想高等学校の在校生とする。

また、新構想高等学校の開校に向けた準備が円滑に行われるよう、平成 23 年度・24 年度の移行期間における両校の教育内容の在り方等について、在校生の教育環境を十分考慮して検討する。

4 設置学科等

(1) 基本的な方針

両校の現在の設置学科や、清庵地区の学科別の生徒受入れ割合の状況を踏まえ、異なる学科で学ぶ生徒が、互いに刺激を与えつつ成長できる学習環境となるよう、普通科、商業科、英語科を併置することを軸に検討する。

また、複数学科を併置する特色を生かし、所属する学科の学習を中心に行いながら、学科の枠を越えて幅広い教科・科目が選択できる総合選択制を導入するなど、柔軟な教育課程の編成・実施等について検討する。

(2) 設置学科の特色

ア 普通科

大学等への進学を前提とした教育課程を編成・実施するとともに、将来の職業人として求められる資質・能力を育成するため、商業科目を学ぶ機会を設けるなど、商業科を併置する特色を生かした教育課程の工夫を行う。

イ 商業科

会計、情報、マーケティングの3分野を踏まえ、時代の変化に適切に対応した実践的なビジネス教育を実施するとともに、普通科、英語科を併置する特色を生かし、大学等への進学にも十分対応できる教育課程の工夫を行う。

ウ 英語科

言語や異文化に関する科目を充実させ、大学等への進学を前提とした教育課程を編成・実施するとともに、将来の職業人として求められる資質・能力を育成するため、商業科目を学ぶ機会を設けるなど、商業科を併置する特色を生かした教育課程の工夫を行う。

(3) その他

英語科については、普通科の類型（コース）としての設置や、英語以外の外国語も学ぶことができる特色ある学科の在り方等を検討する。

また、体育的・文化的活動の振興を図る観点等も視野に、その他の学科の設置等についても検討する。

5 学校規模

高等学校の適正規模や清庵地区の今後の中学校卒業生数の推移を踏まえ、1学年7～8学級とする。

6 設置場所及び施設整備

設置場所は、現清水商業高等学校の校地及び隣接する現清水文化センター敷地とし、学校施設は、全面改築を基本として整備する。

II 静岡地区

静岡県立静岡南高等学校及び静岡市立商業高等学校を再編整備して設置する新構想高等学校の概要は、次のとおりである。

1 学校づくりの基本的な方向

新構想高等学校は、両校の伝統や地域に果たしてきた役割を十分踏まえ、新しい時代に対応した教育を実現するため、次に示す内容を基本的な方向とし、今後、具体的な教育目標等を検討する。

- 高いところざしを持ち、知・徳・体のバランスの取れた人材の育成
- 多様な学習ニーズに対応した教育の推進
- 共生・共育の推進
- 地域の文化や伝統産業を生かした教育の推進
- 地域に根ざした開かれた学校づくりの推進

2 設置者

静岡県とする。

3 開校予定年度等

平成 25 年度とする。

ただし、平成 24 年度までに入学する生徒の募集を両校で行い、平成 23 年度・24 年度に入学する生徒は、平成 25 年度から新構想高等学校の在校生とする。

また、新構想高等学校の開校に向けた準備が円滑に行われるよう、平成 23 年度・24 年度の移行期間における両校の教育内容の在り方等について、在校生の教育環境を十分考慮して検討する。

4 設置学科等

(1) 基本的な方針

静岡地区の学科別の生徒受入れ割合の状況を踏まえ、多様な進路選択に対応できる総合学科を設置する。

また、静岡県立静岡北養護学校南の丘分校（高等部）を併置する。

(2) 総合学科の系列

総合学科における選択科目群（系列）については、両校の現在の設置学科を踏まえ、文科系の普通科目、理科系の普通科目を中心に学ぶ系列や会計、情報、マーケティング、商業デザイン等の商業科目を中心に学ぶ系列を設置する。

また、多様な学習ニーズに対応するため、福祉、家庭の科目を中心に幅広く学ぶ系列や、例えば、雛具、漆器、塗下駄、和染等の地域の文化や伝統産業を学ぶ、特色ある系列の設置についても検討する。

なお、体験的、実践的な教科・科目を効果的に学び、将来を見据えた進路選択が可能となるよう、総合学科の原則履修科目である「産業社会と人間」の学習や進路ガイダンス等の充実を図る。

(3) 共生・共育

静岡南高等学校で実施している共生・共育の成果を生かしつつ、学校行事や日常的な学校生活における交流等を一層推進する。

また、静岡北養護学校南の丘分校（高等部）に在籍する生徒の社会的な自立を目指すため、高等学校の専門教育に係る施設・設備等を活用して職業教育の充実を図る。

(4) その他

設置する系列や共生・共育の実施内容については、今後引き続き検討する。

5 学校規模

高等学校の適正規模や静岡地区の今後の中学校卒業生数の推移を踏まえ、1学年6～7学級とする。

また、静岡北養護学校南の丘分校（高等部）については、1学年2学級程度とする。

6 設置場所及び施設整備

設置場所は、現静岡市立商業高校の校地を軸に検討し、学校施設については、現校舎等の活用及び改築を基本に、併置する静岡北養護学校南の丘分校（高等部）の施設を含めて整備する。

開校に向けて

新構想高等学校の開校に向け、平成 20 年度から清庵地区及び静岡地区の地区ごとに、関係校の教職員を含めた検討組織を整え、更に具体的な検討を行っていく。